

## D-1 事前・事後調査結果の比較

「離乳食」に関する3項目（離乳食とは・離乳食の開始時期・離乳食の進め方）について生徒がどの程度認識しているかを、小単元の前後（講義前・調理実習後）に調査した。調査は、各項目について知るところを自由に記載する形で行い、事後調査では学習全体を通しての感想も記してもらった。

1 【離乳食とは】全回答内容を5つのカテゴリーに分類し、調査前後を比較した。

	事前調査時の回答内容（39人中）	回答数	事後調査時の回答内容（38人中）	回答数
①概念	・乳離れさせるための食事（3）・赤ちゃんがとる <u>ミルク以外の栄養</u> （5）・母乳から普通の食事に切り替えるための食事（2）・幼児が普通食を食べられるようになるまでの間の食事（2）・ <u>初めて与える食物</u> （2）・ <u>歯のはえていない子が食べる食事</u> （2）・ <u>母乳やミルクをやめた後の食事</u> （1）	17	・母乳から普通食（固形物）への移行期に食べさせるもの、 <u>移行させる段階的なもの</u> （24） ・離乳の時に食べさせる食物（2） ・ <u>母乳だけでは足りない栄養を食物で摂取する</u> （10）	36
②小児の発達	・咀嚼能力を上げる（1） ・かむ行動を身につける（1） ・消化機能が未熟な乳幼児が食べる食事（2）	4	・ <u>赤ちゃんの成長に合わせたもの</u> （4） ・ <u>嚥下・咀嚼機能の発達に合ったもの</u> （6） ・ <u>消化機能の発達に合ったもの</u> （3） ・ <u>味覚や免疫力を高めるもの</u> （2）	15
③調理形態	・固形物が余り無くやわらかい（5）・かまなくても飲み込めるもの（2）・細かく軟らかくたべやすい（2）・砕いた物（1）・ドロドロした食感のないもの（2）・大人が食べるものを乳児が食べやすいようにミキサー状にしたもの（2）・バナナと牛乳をミキサーにかけたようなもの（1）	15	・ <u>舌でつぶせる固さ</u> など軟らかいもの（5） ・とろみをつけのみこみやすいもの（2） ・母乳やミルクだけでなく、大人が食べる食事を小さく軟らかくしたもの（1）	8
④味付け	・味が付いていない。（1）	1	・調味料を一切使わない・刺激物を控え薄味・香辛料を使用しない	4
⑤その他	・ <u>いも、粥、うどん、パンをふやかしたもの</u> 、 <u>卵ボーロ、ビスケット</u> （3）	3		0

分析— 離乳食について、学習前は“ミルク以外の栄養”“初めて与える食物”“いも、うどん”など漠然としたとらえ方や“歯のはえていない子が食べる食事”“母乳やミルクをやめた後の食事”“卵ボーロ、ビスケット”など誤った認識があった。一部に小児の発達（咀嚼・消化機能）や調理形態について、正しく具体的に認識している生徒がいたが、これは、小児の発達についての講義や夏休みの課題に取り組む中、理解したものと思われる。事後調査の結果より、ほとんどの生徒が離乳食について正しく理解できた。特に、小児の諸機能の発達に合わせる、乳児の不足しがちな栄養を補うなど、講義・演習（グループ活動）・実習を通し、専門的根拠をもった理解ができている。

2 【離乳食の開始時期】全回答内容を5つのカテゴリーに分類し、調査前後を比較した。

	事前調査時の回答内容（39人中）	回答数	事後調査時の回答内容（38人中）	回答数
①月齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5、6ヶ月～1歳5ヶ月（20）</li> <li>・<u>1歳頃～（3）</u> ・<u>1ヶ月～1歳（1）</u></li> <li>・<u>10ヶ月（1）</u></li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>5、6ヶ月（30）</u> ・4、5ヶ月（3）</li> <li>・3、4ヶ月（2） ・6、7ヶ月（2）</li> <li>・早すぎるのはダメ（1）</li> </ul>	38
②乳歯の萌出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯のはえる頃（9）</li> <li>・<u>歯がないとき（1）</u></li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>乳歯の生えはじめる頃（18）</u></li> </ul>	18
③咀嚼嚥下機能		0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>舌の動きが前後になったら（8）</u></li> <li>・<u>口唇を閉じ始めた頃（3）</u></li> <li>・<u>ごっくんと飲み込めるようになったら（2）</u></li> <li>・<u>咀嚼力がつき始める頃（1）</u></li> </ul>	14
④運動機能		0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>首がすわる、寝返り、座位ができるようになったら</u></li> </ul>	15
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>乳離れした頃（1）</u></li> <li>・乳幼児期（1）</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>個人差あり（乳児のペースに合わせる）（成長に合わせる）（4）</u></li> <li>・<u>興味をもちはじめたら（3）</u></li> </ul>	7

分析一 学習前の調査では、離乳食の開始時期について、20人が“5、6ヶ月”と適切に答えていた。これは、9月に実施された模擬試験に出題されていたため、記憶していたと推測される。5人が“1歳頃～”“10ヶ月”“1ヶ月～”と不適切な回答をしているが、学習後はほぼ全員が適切に理解している。さらに、学習前になかった咀嚼・嚥下機能、運動機能の発達、その他（個人差・児の興味）と合わせて理解していることがわかる。

3 【離乳食の進め方】全回答内容を6つのカテゴリーに分類し、調査前後を比較した。

	事前調査時の回答内容（39人中）	回答数	事後調査時の回答内容（38人中）	回答数
①調理形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べやすい形にする（煮込む、つぶす、細かくきざむ、ドロドロ、水分多め、やわらかく煮る、お粥状）（29）</li> <li>・消化がよいよう工夫する（2）</li> <li>・あごが発達するよう噛む食事（1）</li> </ul>	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>食べやすいよう工夫する（固さ、大きさ、きざむ、とろみ、繊維の多いものはさらに細かくきざむ）（11）</u></li> <li>・嚥下、咀嚼機能の発達に合わせ進める。（ドロドロから固形へ）（16）</li> <li>・最初は汁物（果汁など）から（3）</li> <li>・大人の食事を薄味にしたり、きざむ、とろみをつけるなど工夫する（3）</li> </ul>	33
②栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスがとれている（14）</li> <li>・栄養価が高いもの（3）</li> <li>・蛋白、ビタミン、鉄、カルシウム、緑黄野菜の多いもの（6）</li> </ul>	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛋白、穀類、野菜をバランスよく摂る（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ群）（2）</li> </ul>	2

③ 進め方・食べさせ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色がきれいで楽しく食べられるよう工夫（10）</li> <li>・好き嫌いしないよう工夫（3）</li> </ul>	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>母乳を授乳しつつ食事も食べさせる、母乳の回数を減らし、離乳食回数を徐々に増やす</u>（6）</li> <li>・<u>ミルクとミルクの間の時間に食べさせる</u>（1）</li> <li>・<u>ゆっくり離乳食を食べられる時間を選び食べさせる</u>（1）</li> <li>・<u>冷ましてから食べさせる</u>（7）</li> <li>・<u>声かけしながら一緒に食べる、興味をもたせるなど</u>（11）</li> <li>・<u>個人差ありその子の成長に合わせて進める</u>（献立、回数、時刻など）（7）</li> <li>・<u>嫌がったら無理強いしない、気長に進める</u>（16）</li> <li>・<u>飲み込んだのを確認し進める</u>（1）</li> </ul>	50
④ 味付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過度な塩分、糖分を除きおいしく（3）</li> <li>・薄味、油っこくないもの（1）</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>調味料をあまり使わない（薄味、その食材の味を生かし味覚を発達させる）</u>（9）</li> <li>・<u>脂肪を控える</u>（1）</li> </ul>	10
⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人が食べてもおいしい（1）</li> <li>・はちみつは使用しない（1）</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンの練習（1）</li> <li>・はちみつは使用しない（1）</li> <li>・アレルギーに注意する（1）</li> <li>・市販の離乳食を上手に使う（1）</li> </ul>	4

分析— 発問が曖昧だったので、問いの意味が十分に伝わらず様々な回答が出たが、期待した“③進め方・食べさせ方”について学習後多くの回答があり、理解が深まったと思われる。しかし、離乳食の回数や食べさせる時間帯、授乳との関連については理解が不十分であり、再度説明が必要と考える。“①調理形態”の「繊維の多いものは細かくきざむ」ことや、“③味付け”の「調味料はあまり使わず食材の味を生かす」ことは、調理実習での体験を通し理解できたようである。

【その他】学習後の生徒の所感を一部記載する。

- ・離乳食はどのようなものか理解できた。赤ちゃんの食べ物がわかった。
- ・ジャガイモをきざむと少ない時間で調理できるし、離乳中期の舌でつぶせる固さに作りやすい。
- ・味はなかったが、素材そのものの味を知った。乳児の味覚の発達の程度を知った。
- ・とろみがついて飲み込みやすかった。離乳中期の1回量がわかった。
- ・今の自分があるのは、家族の協力があって育ってきたのだと思った。
- ・ただ単に“子供は可愛いしほしい”という気持ちはなくなり、子育ての大切さをほんの少しわかったような気がする。子育て疲れて虐待とかは絶対せず、幸せに育てたいと思った。
- ・乳児の段階に合わせて離乳食を作るのは気を遣う作業と感じた。毎日のことだから、できるだけ負担が少なく、かつ乳児にとりよい食事を作れたらいいと思った。
- ・大きさや固さなど赤ちゃんの事を考えながら調理していると、教科書を読むより頭に入った。
- ・小さく切るのは面倒くさいと思っていたが、実習をして将来離乳食を作るのが楽しみになった。

